

# カキ生育情報

千葉県

平成24年11月号

## 平成24年10月の気象

平成24年10月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は第6半旬を除く全ての半旬で平年と同じか上回った。月平均気温は18.3℃で、平年より0.4℃、前年と同じであった。

降水量は第2及び第3半旬を除く全ての半旬で平年を上回った。月合計は301mmで、平年の119%、前年の93%であった。

日照時間は全ての半旬で平年を上回った。月合計は165時間で、平年の120%、前年の119%であった。

表1 平成24年10月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	22.2	20.4	17.9	56	43	108	31	20	9
2	18.9	18.8	19.1	11	76	37	22	20	32
3	18.7	18.7	20.0	8	31	31	23	21	22
4	17.7	17.7	18.4	70	35	8	27	22	14
5	17.4	16.5	20.3	82	31	142	30	24	23
6	15.4	15.9	14.8	75	36	0	33	29	39
平均/計	18.3	17.9	18.3	301	253	325	165	137	139

## 11～12月の作業（果実の発育は次ページ）

### 施肥

基肥の施用時期である。土壌中での肥料の分解や浸透を促すため、地温があまり下がらない年内に行う。「西村早生」では11月下旬～12月上旬に、「松本早生富有」、「富有」では12月上旬までに行いたい。肥料の効果が生育期に安定して現れるよう、有機質肥料や有機配合などを主体に、全量を全面散布する。施用量は、年間施用量の70%程度とする。基肥の10a当たり標準施用量は、成分量で窒素、りん酸、加里とも「西村早生」では各10kg、「松本早生富有」、「富有」では各12kgを目安とするが、肥沃地や樹勢の強い園では、これより控え

る。

## 病虫害防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、幼虫を捕殺するため、落葉直後に粗皮削りを行い、中に潜んでいる幼虫を殺す。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。また、落葉病やうどんこ病の伝染源を除去するため、落葉は集めて園外へ持ち出すなどして処分する。害虫の発生が少ない園では、12月以降(休眠期)でよい。これらの防除は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

## 果実の発育

10月30日現在のカキの果径は表2に示した。横径は「松本早生富有」が8.40cm、「富有」が7.81cmであった。本年の横径は「松本早生富有」が平年及び前年よりそれぞれ2%及び5%大きかった。「富有」は平年より5%小さかったが前年より5%大きかった。

縦径は「松本早生富有」が5.63cm、「富有」が5.59cmであった。本年の縦径は2品種ともに平年よりそれぞれ4%及び9%小さかったが、前年よりそれぞれ1%及び3%大きかった。

果形指数は「松本早生富有」が1.49、「富有」が1.40であった。本年の果形指数は2品種ともに平年より高く、横長の傾向であった。

暖地園芸研究所の収穫始めは、「松本早生富有」が10月9日で、平年より4日、前年より8日早く、「富有」は10月15日で、平年より12日、前年より2日早かった。

病虫害は、炭疽病の発生がやや多いことから、樹上軟化する果実も多くなっている。カメムシ類による吸汁害も多くみられる。

表2 果実の生育（10月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径(cm)			縦 径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
松本早生富有	暖地園研	8.40	8.26	8.01	5.63	5.89	5.60	1.49	1.40	1.43
富 有	暖地園研	7.81	8.21	7.43	5.59	6.16	5.45	1.40	1.33	1.36

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2011年の平均

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>